

# 地域ケア推進会議

鹿児島市地域包括支援センター中央

作成担当者： 日高 昭子

## 【計画】

開催日時	令和02年02月27日 10:00 ~ 12:00	開催場所	甲東福祉館
参加者	民生委員：4人、特定非営利活動法人クリンカ鹿児島：1人、社会福祉協議会地域福祉推進課：1人、特定非営利活動法人 つながる鹿児島：0人、東部保健センター：1人、地域包括支援センター職員：8人		
	総数 16人		
内容	テーマ	①第2回振り返り（おひとり様カフェ開催案・地域課題など） ②意見交換（地域活動支援センタークリンカ 支援事例から） ③生活支援コーディネーターより報告 ④その他	
	目的	前回の振り返りに基づき、中央地区の課題の共有を図る。8050問題等について、事例紹介を通じて幅広く委員から意見を求め、今後どのような地域体制・社会資源とのつながりや関係づくりが必要であるかを共有するため。おひとり様カフェについて、主催者欠席につき、かわって日程が確定したため紹介を行う。	
	概要	①前回振り返り ②意見交換（地域活動支援センタークリンカ 支援事例から） ③生活支援コーディネーターより報告 ④その他	

## 【結果】

開催日時	令和02年02月27日 10:00 ~ 12:00	開催場所	甲東福祉館
参加者	民生委員：4人、特定非営利活動法人クリンカ鹿児島：1人、社会福祉協議会地域福祉推進課：1人、特定非営利活動法人 つながる鹿児島：0人、東部保健センター：1人、地域包括支援センター職員：8人		
	総数 16人		
内容	1. 第2回目の振り返りについて(田淵主任) ・ 当会議の参加団体が相互に相談活用できつつあること、新規認知症カフェの紹介、身寄り問題や孤独死について幅広く意見交換できたことを振り返った。 2. 意見交換 地域活動支援センタークリンカ：支援事例の紹介(地域で暮らす障害者について) ①M様(祖父)と孫息子様 ②I様(母)とT様(長男) ③S様(母)I様(長男) ○ 児島氏より事例紹介。8050問題を越えた、祖父と孫の世帯など様々なケースを紹介される。いずれも障害や認知症等の有無もあるが、その他の特徴として、ゴミ屋敷や家賃滞納等の問題も起きている事がわかった。民生委員からもゴミ屋敷や家賃滞納の世帯について情報提供有り。また、昨今の適応障害や支援学級増加、大家、管理人、管理会社、不動産屋等の管理する側の形態の変化もあり、話題は多岐に渡った。今後家賃滞納などの情報を得やすい管理会社等にケースを紹介することも良いかもしれないなど、ご意見いただきました。 3. 生活支援コーディネーターより報告 ・ 介護サービス事業所活用支援事業と活用したい方とのマッチングなど説明いただく。		
	今後の課題など	(成果) ・ 障害を絡めたケースで、本人が認知症で息子が障害者という世帯の例では、公社ビルにあるクリンカハウスの活用から、社会との関わりを持ち、徐々に改善していくケースの紹介があり、クリンカの活用とその効果について参加者に理解が得られた。 ・ 上記①～③のケースで共通項目として拳がった家賃の滞納などは一つのサインと捉えられるかもしれないため、今後管理会社などへの呼びかけも必要ではないかと助言をいただきました。 ・ 多問題が混在しており、話せば話すほど様々な問題が見えてきたが、すぐに解決にいたることは難しい事が改めてわかった。来年度も引き続き、同様の問題を取り扱うこととする。(課題) ・ 中央圏域での「おひとり様カフェ」開催日程にこぎつけたが、開催直前に感染予防対策として急遽中止となった。今後も地域資源の活用と取り組みに生かしていく。 ・ 中央地区の多問題について、それぞれの分野の相談先などを表やマップで『見える化』をすることで至らなかったため、こちらも引き続き来年度取り組んでいくこととする。	